

読書の思い出

高校生になってから、読書の醍醐味を知りました。高校入学が決まったときに、叔父から毎月「芥川龍之介全集」を1冊ずつ買ってもらい、読書が少しずつ楽しくなりました。楽しくなると全12巻を読み終えました。▼新聞小説は読みますか。高校時代、石川達三の『青春の蹉跌』を毎日読んでから登校してました。学校で話の展開を仲間と議論したことを思い出します。▼高校時代は、自分だけの時間があったので『アンナ・カリーニナ』『大地』『赤と黒』等の大作やモーパーッサンの短編等も読みました。大学受験の頃は、大

学紛争で東大入試がない混乱の時代でした。▼下宿せず小湊線の馬立駅から都心の大学まで2時間半かけて通いました。往復の時間に多くの本と出会いました。新宿の紀伊國屋ホールの文化講演会に参加して著名な作家の肉声を毎月聴く愉しみができました。▼本を読むのが沢山あることに気づかされます。大学時代は万葉集のゼミに入り、夏目漱石で卒論を書くことに決めました。▼しかし、漱石で卒論を書く学生が多いので止めました。誰もがやらない『谷崎潤一郎』に決めました。全28巻を読み始めました。その結果、教員採用試験に失敗しました。読書を満喫し、卒論を仕上げて、卒業しました。

- ◎漢字シリーズ2
- どう読む、この漢字
- ①閉塞 ②角逐 ③奢侈 ④磊落
- ⑤矮小 ⑥希有 ⑦充填 ⑧好悪
- ⑨素読 ⑩猛者 ⑪恬然 ⑫遊説
- (解答)
- ①へいそく ②かくちく
- ③しゃし ④いららく
- ⑤わいしょう ⑥けう
- ⑦じゅうてん ⑧こうお
- ⑨そどく ⑩もさ ⑪てんぜん
- ⑫ゆうぜい
- どう読む、この動詞
- ①振る ②火照る ③傾げる
- ④覗く ⑤蠢く ⑥貶す ⑦屈む
- ⑧鞞す ⑨捻る ⑩抉る ⑪蔓延る ⑫点る
- (解答)
- ①よじる(ねじる) ②ほてる
- ③かしげる ④のぞく
- ⑤うごめく ⑥けなす
- ⑦かがむ ⑧なめす ⑨ひねる(ねじる)
- ⑩くじる(えぐる)
- ⑪はびこる ⑫ともる